脳血管障害の医療連携

**１．連携のポイント**

**福岡市医師会**

紹介

受診

市民講座・

啓発

**かかりつけの医師**

**専門医**

救急

受診

保健指導・

啓発

専門的

アドバイス

治療継続

紹介・逆紹介

治療維持

治療維持

**一般市民**

**（潜在的ハイリスク**

**患者も含む）**

**患者**

**（脳卒中・無症候性脳血管障害）**

**（脳血管障害ハイリスク患者）**

**リハ医療療養病床の医師**

①医師間の信頼関係（face-to-faceの連携）、

役割分担の地域医療への患者の理解

②かかりつけの医師は発病・再発を予防し、

健康寿命を延ばす

③脳卒中ハイリスク患者は、専門病院へ紹介し評価

④専門医はしっかりした評価と返書で逆紹介を徹底

⑤脳卒中発病後の迅速な対応と救急連携

⑥急性期治療後の障害に応じた診療所・リハビリ病院・

療養型病院との連携

⑦病診連携に関する情報公開とフィードバック

⑧病診連携室（SW）、情報交換、病院相互訪問

⑨連携の会、市民講座

⑩地域連携パス

**◆ネットワークの完成図**



かかりつけ

の医師

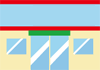


かかりつけ

一般病院

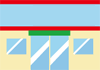


専門病院



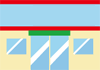
かかりつけ

診療所（専門）



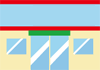
かかりつけ

の医師

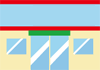


かかりつけ

の医師

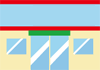


かかりつけの医師



かかりつけ

の医師



かかりつけ

一般病院

かかりつけ

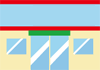
診療所



一般病院



専門病院

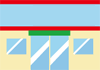


かかりつけ

診療所（専門）

かかりつけ

一般病院



・無秩序な診療 ・かかりつけ診療所・一般病院による日常診療

・情報共有なし ・専門医（診療所、病院）によるセーフティネット

・情報共有化

４